

令和5年度
施政方針及び当初予算提案説明

令和5年2月20日

桶川市

令和5年桶川市議会第1回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和5年度予算案及び主要施策の概要を御説明申し上げます。

【 はじめに 】

市民の皆様から信託を頂き、市政3期目の重責を担わせていただいております。この間、多くの市民や議会の皆様の御指導、御協力を頂きながら、職員と一丸となって全力でまちづくりに取り組んでまいりました。

昨年を振り返りますと、我が国の経済はコロナ禍からの社会的活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いた一方で、世界的なエネルギー価格の高騰や諸外国の金融引き締めなど、我が国を取り巻く環境は厳しさが増した1年でした。

そのような中、本市といたしましては、住民税非課税世帯等への物価高騰緊急支援給付金や市独自事業として子育て世帯への支援給付金、事業者支援金、商品券配布事業など様々な施策を検討し、厳しい財政状況の中、限りある資源を有効活用しながら市民の皆様への支援を実施してきたところでございます。

さて、本市の財政状況につきましては、依然として大変厳しい状況が続いております。少子高齢化社会の進展を背景に社会保障経費や公債費などの義務的経費が増加するとともに、経済状況の変化に伴い光熱水費や委託料などの経常経費が増加しており、さらに今後は、ごみ処理施設整備など多くの財源を要する事業も控えております。

このような厳しい財政状況の中でも、本年度策定いたしました「桶川市第六次総合計画」の実現に向け事業に取り組むとともに、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け、本市の発展や市民福祉の向上を図るために必要な施策をスピード感をもって実施してまいります。

今後も引き続き、議員各位並びに市民の皆様への御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

【 市政運営に対する基本的な考え方 】

それでは、市政運営に関する基本的な考え方につきまして、順次申し上げます。

令和5年度の市政の運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、時代や社会の変化に柔軟に対応し、多様化する行政需要に着実に対応していく必要がございます。

市の最上位計画である総合計画につきましては、本年度「桶川市第六次総合計画」を策定したことから、予算編成においては、基本構想の実現に向け事業に取り組むとともに、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け、必要な施策をスピード感を持って展開してまいります。

当初予算の編成に当たりましては、第六次総合計画を基本とし、新しい時代を見据え、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、優先的に予算措置を講じるものでございます。

それでは、5つの分野の主な事業について御説明申し上げます。

はじめに、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」でございます。

市民の安全を確保するため、河川の浚渫や止水板の設置に対する補助など、災害に対して安心で安全な基盤づくりに取り組んでまいります。また、利便性と安全性の向上を図るため、駅西口トイレ整備事業や愛宕^{ひがし}東線整備事業、道路照明灯LED化事業に取り組むなど、安心安全で利便性の高いまちづくりを推進してまいります。

次に、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」でございます。

子育てを支援するため、出産・子育て応援事業や子育て世帯応援ギフト事業を新たに実施するなど、引き続き安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。また、小学校におきましては、熱中症対

策としての体育館空調設備等の整備に取り組んでまいります。さらに、通学路安全対策事業、学校プール民間委託の全中学校実施など、こどもが輝き、安心して学ぶことのできる教育環境の整備を推進してまいります。

次に、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」でございます。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援するため、高齢者安心ネットワーク事業、地域支え合い事業、居宅サービス利用料軽減事業など、様々な在宅福祉サービス事業を引き続き実施してまいります。また、健康づくりや介護予防を図るため、通いの場における100歳体操の支援や健康長寿いきいきポイント事業など、これまで実施してきた各種事業の取組を引き続き進めるとともに、成年後見制度の利用促進や総合福祉センターにおける昇降機の改修など、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」でございます。

道の駅推進事業につきましては、施設の設計・建設を実施し令和6年度中の開業を目指してまいります。また、駅西口公園につきましては、クライミングウォールやミストポールの設置などリニューアルを実施してまいります。さらに、新たに「おけがわ魅力発信大使」を任命するとともに、べに花まつり、市民まつり、春のふれあいフェスタなどを開催することで、桶川市の魅力を発信しにぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりを推進してまいります。

次に、「新たな時代に向けたまちづくりの推進」でございます。

駅東口整備事業につきましては、引き続き用地買収を進め、早期完成に向け整備を推進してまいります。また、南小跡地等利活用調査事業や地球温暖化対策のため脱炭素事業に取り組むなど新たな時代に向けたまちづくりを推進してまいります。

【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和5年度予算編成に当たりましての基本的な考え方を申し上げます。

昨年より始まったウクライナ情勢の長期化や円安の進行等により、エネルギー価格や原材料価格などの物価高騰が経済活動に影響を及ぼし、現在もその影響は続いております。これまで様々な物価高騰に対する支援策を講じてきましたが、先行きは未だ不透明でございます。

こうした中で編成された国の令和5年度一般会計予算案は、前年度比6.3%増の114兆3,812億円となり11年連続で過去最大規模となりました。

地方自治体の予算編成の指針となる地方財政計画においては、地方が安定した行政サービスを提供しつつ、地域の脱炭素化やデジタル化など様々な行政課題に取り組めるよう、前年度を上回る一般財源総額が確保されたところでございます。歳入につきましては、臨時財政対策債が減少する一方で地方交付税や地方税が増加いたしました。また、歳出につきましては、地方が幅広い施策に自主的・主体的に取り組むことができるよう所要の経費を措置し、地方一般歳出も前年度を上回る額が確保されたところでございます。

このような社会情勢の中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入は前年度比較で4.5%の増額を見込んでいるところでございます。一方で、歳出につきましては、高齢化等を背景とする社会保障経費や市債の償還などの義務的経費の増加、老朽化した公共施設の改修や災害対策に要する経費の増加など、行政需要の増大により極めて厳しい財政状況にあります。

こうした状況にあっても、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を推進するため、将来への投資を行いつつ、子どもから高齢者まで多くの市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

【 令和 5 年度予算案の概要 】

令和 5 年度の予算案は、これまで申しあげました考え方に立って編成いたしましたもので、その規模は、

一 般 会 計	2 6 4 億 6 , 2 0 0 万円	(前年度比 4 . 9 % 増)
国民健康保険特別会計	7 2 億 9 , 5 0 0 万円	(前年度比 0 . 1 % 減)
介護保険特別会計	6 4 億 6 , 8 0 0 万円	(前年度比 8 . 0 % 増)
後期高齢者医療特別会計	1 3 億 4 , 2 0 0 万円	(前年度比 4 . 2 % 増)
公共下水道事業会計	1 5 億 8 , 5 8 3 万 9 千円	(前年度比 5 . 6 % 増)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきまして御説明申し上げます。
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和 4 年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比 4 . 5 % 増の 1 0 8 億 3 8 5 万 9 千円を計上いたしました。

地方譲与税から地方特例交付金までにつきましては、国から示される地方財政計画や実績などを参考にそれぞれ計上いたしました。

地方交付税につきましては、令和 4 年度の算定額や地方財政計画などを参考に、前年度比 1 0 . 8 % 増の 3 1 億 8 , 0 0 0 万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、新型コロナワクチン接種対策費負担金などの減少に伴いまして、前年度比 4 . 1 % 減の 3 9 億 5 , 0 4 3 万円を計上いたしました。

県支出金につきましては、障害者自立支援給付費負担金などの増加に伴いまして、前年度比 0 . 8 % 増の 1 8 億 1 , 3 2 1 万 2 千円を計上いたしました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金などの減少に伴いまして、前年度比12.0%減の9億6,427万8千円を計上いたしました。

市債につきましては、教育債の増加などに伴いまして、前年度比34.8%増の23億3,560万円を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第六次総合計画」における政策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要を御説明申し上げます。

1 生きる力と豊かな心を育む 桶川

【教育・文化に関する分野】

子ども達の創造性を育む教育や誰もが生涯にわたる学びを通じ、地域の自然や文化に触れ、個性や価値観を認め合いながら、生きがいのある豊かな人生を育むことができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、就学前教育の支援・充実につきましては、幼児期からの心身ともに調和のとれた成長・発達のため、幼稚園、保育所などと小学校の連携を図ってまいります。また、家庭における教育力向上のための研修会を行うとともに、保護者への各種情報提供や啓発に取り組んでまいります。

次に、学校教育の充実につきましては、近年の記録的猛暑などを鑑みて、安心・安全・快適に学習できる教育環境を実現するため、市内全ての小・中学校の体育館に空調設備の整備を進めてまいります。令和5年度では、令和4年度に設計を実施した小学校4校で整備工事を行うとともに、小学校3校にて設計を実施してまいります。また、中学校の水泳授業につきましては、令和5年度より市内全中学校において民間の屋内施設を利用し、教員とインストラクターによる生徒の泳力向上の指導と安心安全な授業の実施、学校プールの維持管理費用の削減を図ってまいります。さらに、特別な教育的配慮が必要な児童生徒など、一人ひとりの状況に応じた適切な教育的支援を図るため、中学校の

学習支援室に専任職員を配置するとともに、教育センターの専任相談員を増員し、相談体制の充実を図ってまいります。

次に、青少年の健全な育成につきましては、青少年が社会から取り残されず、健やかに成長し、自立、活躍できるよう、家庭や学校だけでなく、地域全体で支える環境づくりを進めるとともに、青少年を育成する団体との連携や支援を通じ、青少年の社会力・生きる力を伸ばし、健全な育成に努めてまいります。

次に、生涯学習・生涯スポーツの充実につきましては、施設利用者のニーズに応じた適正な維持管理と機能の充実を図るため、サン・アリーナ柔道場の畳や総合運動場簡易トイレの更新を実施してまいります。また、引き続き相互連携協定を締結している「日本体育大学」や「埼玉西武ライオンズ」、「埼玉上尾メディックス」などとの連携事業の活用を図るとともに、「スポーツフェスティバル」や「オケちゃん駅伝競走大会」などを開催し、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方々にスポーツの楽しさを体験してもらうことで、スポーツ実施率の向上に繋げてまいります。

次に、文化・芸術の振興・保存・継承につきましては、市役所1階の市民ギャラリーの活用や、市民の手づくりによる「おけがわ市民芸術文化祭」の開催など、自主的で独創的な文化活動への支援を実施してまいります。また、本市の貴重な文化財や伝統などを保存、継承するため、各種調査や文化財の指定などを実施するとともに、本市の歴史や文化財への興味や理解が深まるよう、市内の文化財の積極的な活用を図ってまいります。さらに、川田谷公民館、川田谷図書館、歴史民俗資料館の複合施設である川田谷生涯学習センターの大規模改修を実施してまいります。

次に、人権教育・啓発と平和の推進につきましては、基本的人権を互いに尊重し、あらゆる差別を無くすとともに、平和で明るい社会を築くため、正しい知識を学び、自ら考え行動することができるよう継続的な人権教育の推進と平和が尊重される社会づくりを進めます。

2 共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川 【健康・福祉に関する分野】

市民の健康づくりに対する支援や、保健・医療・介護体制の充実、子育て支援、障害者の自立支援などの充実を図り、住み慣れた地域で共に支え合い、健康で幸せな生活を続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、健康づくりの推進・医療の充実につきましては、現在、妊婦、20歳及び60歳を対象に成人歯科健診を実施しておりますが、新たに40歳の方を追加し、う歯や歯周病を早期発見し、治療に結びつけることで、市民の健康の更なる保持増進を図ってまいります。また、食を通じた健康づくりを推進するため、女子栄養大学と連携し、地域の食生活課題の解決に向けた食育の推進を図ってまいります。

次に、子ども・子育て支援の充実につきましては、子どもを安心して生み育てられる環境の充実を図るため、妊娠時及び出産時に出産・子育て応援金の支給や4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳3か月児健診の実施時に子育て世帯応援ギフトとして商品券を配布し、経済的支援を図るとともに、低出生体重児の保護者にリトルベビーハンドブックを配布し、妊娠期から子育てまで切れ目のない支援を実施してまいります。また、保育環境の充実を図るため、鴨川保育所を大規模改修するための設計を実施してまいります。さらに、働きながら子育てできる環境の充実を図るため、育児休業中に生かせる育児力及び家事力の取得を目的とした育MENクラスを実施してまいります。

次に、高齢者支援の充実につきましては、成年後見制度の利用促進を図るため、関係機関の連携、支援強化等の役割を担う中核機関を設置してまいります。また、老朽化に伴う総合福祉センター内の昇降機の改修を実施してまいります。

次に、障害者（児）支援の充実につきましては、障害者や障害児が地域で安心して生活するために必要なサービス給付や総合的、専門的な相談など、ニーズに即した福祉サービスの充実を図ってまいります。また、言語の修得、教育等における発達支援の充実を図るため、中軽度難聴児

補聴器購入費補助金の対象を大学等に進学する難聴者まで引き上げるとともに、障害者差別解消法の改正により合理的配慮の提供が事業者にも適用されることに伴い、対策を講じる市内事業者に支援を実施してまいります。さらに、老朽化対策とあわせて水害危険度の低い安全な場所へ移転するため、いずみの学園の建設を実施してまいります。

次に、自立した生活への支援の充実につきましては、誰もが経済的に自立した生活を送ることができるよう、生活保護制度の適正な運用を図るとともに、関係機関との連携を図りながら就労支援などに取り組んでまいります。

次に、地域福祉の推進につきましては、重層的支援整備事業として開設した福祉総合相談窓口を充実させ、市民ニーズや社会の変化に対応しうる持続可能な地域福祉の増進を図ってまいります。

3 安心して暮らし続けられる 桶川 【安心安全・都市基盤に関する分野】

防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実により、市民一人ひとりの生命と財産を守るとともに、生活機能が集積する拠点と交通ネットワークの形成により、生活の利便性を高め、心穏やかに暮らし続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、防災・減災対策の推進につきましては、市民、事業者等が自助・共助・公助の考え方を理解し、主体的に災害に備え、自発的に行動できるよう、市や地域で行う防災訓練などを通じて、意識啓発と地域防災力の向上に努めてまいります。また、市内で発生する火災等の消防活動等の中核を担う消防団につきましては、引き続き、消防団員の確保及び女性団員の登用に努めるなど、消防団の充実強化を支援してまいります。

次に、防犯まちづくりの推進につきましては、市民の防犯意識の向上を図るため、防犯に関する知識の普及や防犯意識の啓発に取り組むとともに、防犯パトロールや啓発活動を行う自主防犯団体を支援し、活動の

促進に努めてまいります。また、犯罪抑止を図るため、道路照明灯等の設置や適切な維持管理を行うなど、防犯環境の整備を図ってまいります。

次に、交通安全対策の推進につきましては、交通安全意識や交通マナーの向上に関する周知・啓発活動に取り組むとともに、歩道整備や道路照明灯のLED化など、更なる交通安全施設の整備や適切な維持管理を実施してまいります。また、通学路安全総点検に基づき、北一丁目地内の通学路の道路側溝に蓋を設置し、安心・安全な歩行空間の形成を図ってまいります。

次に、治水対策の推進につきましては、大雨に伴う浸水被害などの軽減を図るため、高野戸川、舎人調整池、東部都市下水路、江川流域水路などの^{しゅんせつ}浚渫工事を実施するとともに、目沢排水路流域や下日出谷西地区の治水対策を計画的に実施してまいります。また、一級河川江川につきましては、引き続き早期改修を国、県へ強く要望するとともに、現在、上流域で埼玉県が進めている調節池の整備事業に協力してまいります。

次に、良好な都市環境の形成につきましては、公園利用者のニーズを踏まえた改修や適切な維持管理を図るため、駅西口公園のリニューアルを実施するとともに、都市公園の施設長寿命化計画を策定してまいります。また、引き続き下日出谷高井地区や駅東口地区の公共下水道の^{かんきよ}管渠整備を実施するとともに、持続可能な下水道事業運営を図るため、ストックマネジメント計画に基づく今後5年間の更新実施計画を策定してまいります。

次に、道路の整備・管理につきましては、交通利便性が高く安心して移動できる道路環境の形成を図るため、愛宕東線^{ひがし}の整備を実施し、計画的な整備を推進してまいります。また、安心安全な道路環境の形成を図るため、道路の舗装修繕及び橋りょうの定期点検を実施するとともに、狭あい道路の整備を推進してまいります。

次に、安全な消費生活の確保につきましては、市民が消費トラブルを回避し、安心して消費活動を行える環境づくりを引き続き進めるとともに、市民が消費生活で感じる不安の解消を図るため、桶川市消費生活センターを中心として相談体制の充実などに努めてまいります。

次に、生活に身近な拠点の形成につきましては、魅力ある中心市街地

の形成を図るため、駅東口駅前広場や駅東口通り線、市道11-1号線の整備を推進するとともに、南小跡地等の利活用調査を実施してまいります。また、施設の老朽化に伴い、駅西口トイレを新たに建設するための設計を実施してまいります。さらに、引き続き市内循環バスの試験運行を実施し、本格運行に向け利用者のニーズにあわせた利便性の更なる向上を図ってまいります。

4 環境にやさしく みどりと調和した 桶川

【環境・みどりに関する分野】

再生可能エネルギーの導入、ごみの減量化や再資源化、河川や雑木林、公園などのみどりや水辺の保全と活用を図り、人と自然にやさしく、みどり豊かで快適なまちづくりを進めてまいります。

はじめに、地球温暖化対策の推進につきましては、2050年温室効果ガス実質排出量ゼロを目指し、地球温暖化に関する意識啓発を図るとともに、再生可能エネルギーの普及促進やごみの減量化などの脱炭素に向けた取り組みを推進してまいります。

次に、資源循環型社会の構築につきましては、安定したごみ処理体制を構築するため、川島町と協議会を設置し、ごみ処理の広域化を早期に実現できるよう取り組んでまいります。また、新たに「ごみ減量化対策推進協議会」を設置し、市民等との連携・協力によりごみの排出量抑制や再資源化に取り組むなど、更なるごみの減量化を推進してまいります。

次に、快適で衛生的な地域環境の創出につきましては、良好な生活環境の充実を図るため、生活環境の維持・保全に関する規制の内容等を周知し、意識啓発を図るとともに、騒音や振動、大気汚染などの環境調査や公害の監視などを実施してまいります。また、良好な水環境の確保に向け、公共下水道や合併処理浄化槽など生活排水施設等の整備を進めてまいります。

次に、みどり空間の創出につきましては、緑化活動の推進を図るため、緑化ボランティア団体への支援やみどりに関するイベントを実施してま

います。また、公園や広場、道路の植樹帯などの緑化や適正な維持管理に努めてまいります。

次に、憩いの自然空間の保全と活用につきましては、自然と生活環境との調和を図るため、市民緑地や保存樹林の指定など身近なみどりや水辺環境、生態系の保全等に努めてまいります。

5 にぎわいと活力ある 桶川

【産業・経済に関する分野】

農業、工業、商業、観光業など、多様な産業の連携や振興を図るとともに、中心市街地の活性化、地の利をいかした企業誘致や施設の立地誘導を図り、住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、農業の振興につきましては、地域が取り組む農地環境保全活動への支援などを実施し、農地の適正な保全と管理に取り組んでまいります。また、農地利用集積を推進し、引き続き荒廃農地の発生防止や解消に努めてまいります。

次に、工業の振興につきましては、事業活動の発展や維持、安定的に成長できる環境づくりを推進するため、中小企業融資制度や相談支援体制の充実を図ってまいります。また、企業誘致を推進するため、桶川北本IC周辺東部地区において、広域交通網の結節点という地の利をいかした産業基盤づくりに向け、引き続き地権者協議会及び事業者と共に協力し、事業の実現を目指してまいります。

次に、商業の振興につきましては、空き店舗に新たに新店を出す事業者に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを進めてまいります。また、市内での開業を目指す方に対し、創業支援事業計画に基づき、関係機関との連携による支援を実施してまいります。

次に、観光の振興につきましては、観光協会と連携しながら、観光の推進を図ってまいります。また、べに花等を活用したまちづくりを進めるため、関係団体への支援を引き続き行ってまいります。さらに、観光

まちづくり拠点となる道の駅につきましては、令和6年度中の開業に向けて、設計・建設を実施してまいります。

次に、就労支援と勤労者福祉の充実につきましては、労働関係機関と連携しながら、就労に関する情報提供や相談機能の充実を図り、雇用機会の確保や勤労者福祉の充実に努めてまいります。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和5年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、令和5年度は「桶川市第六次総合計画」の将来像である「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、市政に対します、より一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。